

伊東市コミュニティ・スクール研修会

参加者アンケート

本日は、ありがとうございました。アンケート記入に御協力をお願ひいたします。

氏名	森 篤
----	-----

1 講演について

該当する欄に○を付けてください。

参考になった	<input checked="" type="radio"/>
どちらかといえば参考になった	<input type="radio"/>
どちらかといえば参考にならなかった	<input type="radio"/>
参考にならなかった	<input type="radio"/>

2 感想等ご自由にお書きください。

*その場の提出ではなく、感想を書く時間が数日与えられました
ので、聴講メモに基づいて別紙に整理しました。
次年度以降の研修会のご参考にしていただければ大変ありがたく存じます。

御協力ありがとうございました。

聴講の感想

宇佐美小中学校運営協議会

令和 6 年度委員 森 篤

1. 研修会開催の時期について

諸般の事情からこの時期に研修会を開催することになった旨の説明がありましたが、やはり、研修は委員任期の半ばまでには行うべきだと思います。

委員の任期は、年度末まであと 1 月半ありますが、実質的には、現在の学校運営協議会（以下、「学運協」といいます。）の体制（学運協の運営の仕方というほどの意味です）では、学運協の構成員としての任務は、講演当日の「(第 3 回) 学運協」で終了したと思います。

つまり、一般論としてではありますが、実質的な任務が終了する委員に対して、任務が終了するその日に研修会（任務遂行のための研修会）を開催するというのは、諸般の事情があるとはいえ、全く研修会主催者の都合によるものであり、研修会の意義をわきまえず、また、学運協委員を軽く見ているのではないかとも思いました。

それよりも、現委員は任務を終了する訳ですから、今年度の今さらの研修会は無しとして、来年度に新たに任命される学運協委員に対して早い時期に研修会を実施すべきであると思います。今年度の早い時期から、非公式にではありますが、学運協事務局（庶務としての学校）に研修会の必要性を説いてきたつもりですが、愚輩の意は通じなかつた様です。

2. 研修会（講演）の内容

研修会開催時期については、1. のとおりの感想ですが、偶然にもその内容のいくつかについては参考になりました。愚輩は、2 月 11 日付で、学運協委員長宛に「(第 3 回) 学運協」の追加議案を資料を添えて提案し受理されているところですが、研修会の講師の言及に、愚輩の追加議案の内容と軌を一にするヶ所があったということです。講師は当日まで愚輩の追加議案については全く知り得ないことですので、講師の意図はともかくとして、追加議案の提出について確証を得たところです。

一方、研修会の全般的な内容については、愚輩は既に自身で法律、関係資料等を収集し、時間をかけて、自分なりに現場に即した「学運協のあり方」及び「地域学校協働活動のあ

り方」について考察しているところでもあり、講演の基本的な内容については既に承知しているところがほとんどですので、参考になったというほどのことはありませんでした。(言い方としては、参考になったという前述の記載と矛盾しているようですが)

講演の中で、講師から「コミュニティ・スクールの適正解は、一つではなく、学校ごとに異なる」という趣旨の言及があったと思いますが、この言葉は、学校ごとにやり方がちがうというような単純なことばかりではなく、方程式の設定とそれを解くそのプロセスの考察を含んだいくつかの意味、視点で大変含蓄のある言及であると考えました。これも愚輩が考えていることと軌を一にするものでした。(これも参考になった事項の内です)

3. 当日の時間割

事前に学運協委員に通知のあった議案によれば、「(第3回) 学運協」の議題には、令和7年度の「学校運営の基本的方針の承認」があり、これは、学運協の権限行使に係る最も重要な議案であります。会議の進行に際してはこの議題が最重要事項として審議されなければなりません。

研修会が2時半から予定されていることも、また、そのため、会議の進行がタイトであることも事前の説明があったところですが、それは、少なくとも最優先事項の議題の審議及び採決をおろそかにしてよいということではないと思います。

会議はどういう発言ができるか、わかりませんことから、事務局の描いた進行シナリオのとおりになるとは限りません。たった一言の発言で紛糾する場合もめずらしいことではありません。そういうことも含めて、まずは、真摯に、一所懸命発言できるように会議のしつらえを整えることが大事だと思います。

研修会の時間を守ろうとすることで、学運協の会議の流れを切って研修会を挿入させたことは結果的には誤りであったと思います。大事な審議も大事な講演も尻切れトンボになってしまったような印象があります。

4. 次年度の研修会に向けて

①次年度以降研修会を開催する場合は、単独開催にするか、そうでない場合は、プログラム（学運協のどこに挿入するかという意味のプログラム）の工夫が必要だと思います。

②大学の先生の講演もよいとは思いますが、学運協委員が受け身になる研修会ではなく、市内学運協委員による議論、意見交換などによる研修会の工夫も大事かと思います。

以上